

家畜衛生情報

伯耆町金屋谷
電話:62-0140

■今月号のトピックス

1. 臍帯炎
2. 口蹄疫情報
3. 県外導入牛検査

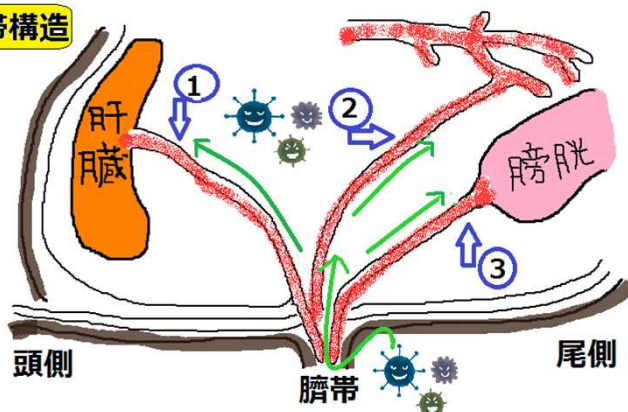


農場の出入口には、看板を設置し、消石灰を定期的に散布して関係者以外の出入りを制限しましょう。

1 子牛の臍帯炎

子牛の臍帯は、臍静脈(図①) 臍動脈(図②)、尿膜管(図③)の3つの脈管により構成されています。臍静脈は肝臓に、尿膜管は膀胱につながっているため、臍帯で増殖した細菌が上行性に感染した場合、膀胱炎や肝膿瘍になり、また血行性に全身に散布され、関節炎や腹膜炎などを発症する危険性があります。発見が遅れると死亡する例もあります。

臍帯構造



本紙は、「家畜衛生情報ファイル」に綴っておいてください。

◆ 細菌の感染が波及し、全身症状が出てくるのは・・・

⇒ 生後1ヶ月～3ヶ月に多く、この時期では治療が難しくなります

臍帯感染は、臍帯が乾燥するまでの期間に起こることから、異常の早期発見のため、**生後1週間を目安に臍を触る**習慣をつけましょう！

◆ また、出生時の子牛に、**良質な初乳を、できるかぎり早く給与**することは、臍帯炎のリスクを低下させるために重要です。

⇒ 初乳中の免疫物質を子牛が吸収する効率は、時間とともに低下(出生後6時間で**40%**、12時間で**30%**)と言われていています。そのため、**5～6時間以内**を目標に初乳を給与しましょう！

◆ 臍帯炎の予防にもっとも大切なことは・・・

清潔で乾燥した分娩環境・飼養環境を維持すること！！

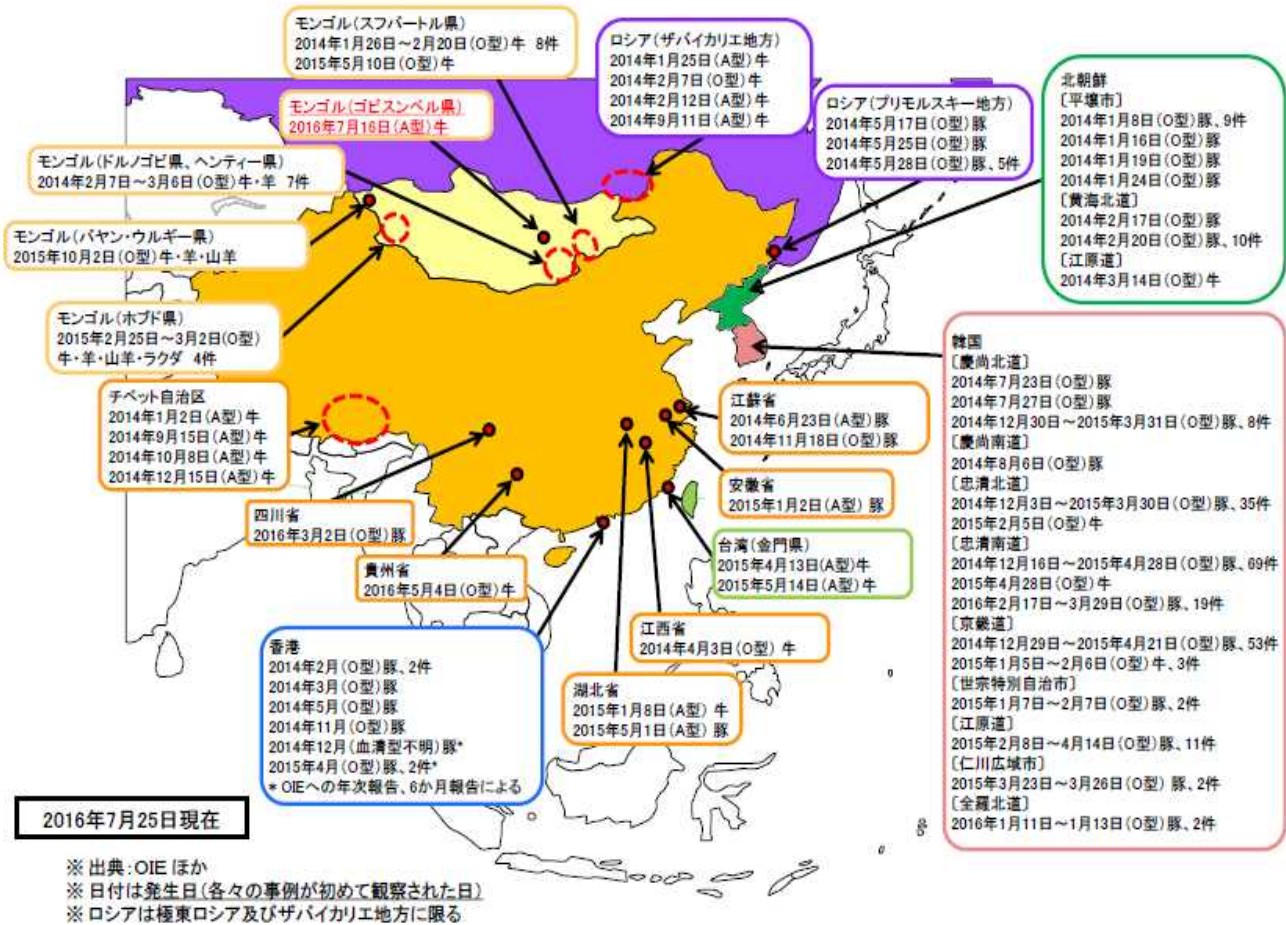
細菌が増殖しやすい気温の高い時期(6～9月)はとくに注意が必要です。

～まとめ～

- ① 臍帯の観察を心がけましょう
- ② 初乳の給与は時間が大切
- ③ 清潔で乾燥した環境を保ちましょう

2 口蹄疫情報

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2014年1月以降の発生）



本紙は、「家畜衛生情報ファイル」に綴っております。

3 県外導入牛検査

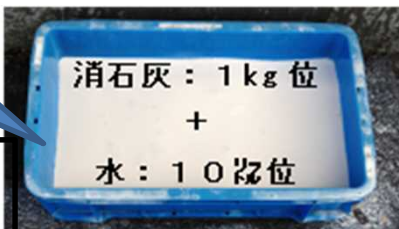
県外から導入した牛に対し、家畜伝染病予防法に基づき、家保にて**無料**で、牛ウイルス性下痢粘膜炎(BVD-MD)、ヨーネ病の検査を行っています。預託帰りの牛は、ヨーネ病のみ検査します。家保にご連絡下さい。

[編集後記]

今年度の定期検査が無事終わりました。ご協力いただき、ありがとうございました。涼しくなり過ごしやすくなってきましたが、最近では台風の発生が多く天候も気になります。これからだんだんと寒くなってきますので、農家の皆さんも牛も体調管理に気をつけて下さい。
田島

ウイルスを農場入口でブロック！
消毒槽を設置しましょう！

踏込消毒槽
10%消石灰水



まずは
①自身の農場から！
次へステップアップ
②地域防疫を！